

インフルエンザ(2026年第16週)疫学情報

《コメント》

2026年第16週の定点当たり報告数は0.92(患者報告数3,457)となり、前週の定点当たり報告数1.46よりも減少した。都道府県別では山形県(4.68)、沖縄県(3.48)、北海道(2.79)、石川県(2.11)、新潟県(1.89)、富山県(1.81)、長野県(1.80)、秋田県(1.60)、鳥取県(1.48)、岡山県(1.44)の順となった。全国47都道府県中、2都道府県では前週の報告数よりも増加し、44都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は47例であり、前週(82例)から減少した。23都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(3例)、1～4歳(16例)、5～9歳(5例)、10代(5例)、20代(1例)、30代(2例)、40代(2例)、60代(1例)、70代(4例)、80歳以上(8例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近5週間(2026年第12週～2026年第16週)では、B型が173件(98%)、AH3亜型が2件(1%)、AH1pdm09が1件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。